

## 優秀活動賞受賞にあたって

京都市立病院 院長 内藤和世

このたびは医療安全全国共同行動優秀活動賞に選出いただき、大変名誉に思い、また、当院職員の2年間の取り組みが評価されたことをうれしく思います。

京都市立病院は、平成16年5月に気管切開チューブにかかる重大事故を経験しました。それをきっかけに、医療安全の組織的取り組みを、職員一丸となって進めてきました。医療安全管理委員会、医療安全推進委員会を軸に、医療評価小委員会、問題症例検討小委員会、事例検討小委員会を機能させてきました。さらに、医療安全にとどまらず、医療の質向上の取り組みとして様々な臨床指標を設定し、医療の質推進委員会で評価を進めてきました。

第1期全国共同行動では、8つの行動目標に加えて、当院独自の取り組みとして、患者個人情報保護対策を加えました。全部署の協働による実践、毎月の評価により、常にPDCAサイクルが働くように心がけてきました。

今回の受賞におごることなく、今後も医療安全・医療の質の向上に努力していきたいと考えています。